

理学とSDGs

2022年11月22日(火) 10:00~11:00

会場 理学研究科6号館南棟 4階401講義室



理学は、自然界に潜む未知の現象や法則を求めて、自らの好奇心のおもむくままに自由に思索し、探求する学問です。理学に取り組む研究者は自分の研究を考える時に、それがどのように社会や人々の生活、あるいは我々を取り巻く地球や宇宙といった環境に影響を及ぼすかを考えることはあまりないかもしれません。

しかし、そのような好奇心に導かれて行った研究がきっかけとなり、当の研究者が思いもしなかったような科学技術、あるいは人々の暮らしを大きく変えるような発明などにつながっていくことも人類の歴史で繰り返し見られます。一方で、好奇心によって行った研究の結果が我々を取り巻く自然や環境、あるいは社会の平和や安全を脅かすような結果をもたらしたことも少なくないと思います。

研究という営みはすべて、多かれ少なかれこのような功罪を持つものだと思いますが、理学という純粋に好奇心によって行う研究でも、それが社会へもたらす影響について、もはや無関心ではすまされないだろうと思います。そのような理学研究と社会との関わりに思いを巡らすことにも研究を行う者、学ぶ者の責任があるのではないかと考えます。

このような考えから、この「理学とSDGs」という講演会を企画いたしました。ご存知のようにSDGs(持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals)は2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として2015年に国連総会で制定されました。この講演会は、SDGsの理解と普及に様々な形で取り組んでおられる日本総合研究所の村上芽氏をお迎えして、特に理学という学問の観点からSDGsについてお話いただき、理学研究と地球社会やより大きな世界の共存について考え、議論する場となればとの思いで企画いたしました。この講演会が理学部・理学研究科の学生の皆さん、教職員の皆さんにいろいろな形で良い機会となることを願っています。

理学研究科長・理学部長 國府 寛司

むらかみ めぐむ

講師 村上 芽氏 (株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト)

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト。専門分野はSDGsと企業経営・人材育成、サステナブルファイナンス支援、子どもの参加論。著書『図解 SDGs入門』(2021)『少子化する世界』(2019)、共著『日経文庫 SDGs入門』(2019)など。

内閣府「少子化社会対策大綱の推進に関する検討会」委員(2021-2022)、東京都環境審議会臨時委員(2021-)、大阪府SDGs有識者会議メンバー(2020-)。



事前登録制(必須) **無料**

登録期限: 11月18日(金) / 京都大学学生および教職員対象

◀ 登録先QR

■ お問い合わせ先

京都大学大学院理学研究科附属サイエンス連携探索センター

Tel: 075-753-9413 E-mail: 050sacra@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

■ 主催

京都大学理学部・理学研究科